

顧問関与先の皆様へ

年末調整の注意点(所得の見積額)

年末調整時において間違いが非常に多いのが**“所得の見積額”**です。所得とは利益のことを指し、給料であれば**“給与所得控除額”**を控除した後の金額を指し、公的年金であれば**“公的年金等控除額”**を控除した後の金額が所得となります。

給与総額や年金支給総額を記載される方が多数おります。

令和6年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ)	あなたの生年月日
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号	あなたの氏名	養育主の氏名
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの個人番号	あなたの住所
		あなたの住所(郵便番号)	
		あなたは同居の親族か	
		あなたは学生か	
		あなたは障害者か	
		あなたは配偶者か	
		あなたは扶養親族か	
		あなたは16歳以上30歳未満又は70歳以上の障害者か	
		あなたは28万円以上の支払	

ここに記載する金額です
ここに記載する金額が**“所得”**ではなく**“収入”**で記載されるケースが非常に多くなっています。

扶養にできる所得は給与や年金、その他の所得を合算した後で**48万円以下**である必要があります。給与所得控除額はおおよそ160万円以下であれば55万円です、103万円の壁と言われるのは**給与だけであれば年間103万円以下であれば扶養に入ることができる**ためです。

また、公的年金等控除額については**65歳未満(その年12月31日時点)であれば60万円以下は所得ゼロ、65歳以上であれば110万円まで所得がゼロ**となります。

参考 公的年金の所得の計算式

公的年金等に係る雑所得以外の合計所得金額が1,000万円以下			
年金を受け取る人の年齢	(a)公的年金等の収入金額の合計額	(b)公的年金等に係る雑所得の金額	
65歳未満	60万円以下	0円	
	60万円超 130万円未満	収入金額の合計額	- 60万円
	130万円以上 410万円未満	収入金額の合計額	× 0.75 - 27万5千円
	410万円以上 770万円未満	収入金額の合計額	× 0.85 - 68万5千円
	770万円以上 1,000万円未満	収入金額の合計額	× 0.95 - 145万5千円
	1,000万円以上	収入金額の合計額	- 195万5千円
65歳以上	110万円以下	0円	
	110万円超 330万円未満	収入金額の合計額	- 110万円
	330万円以上 410万円未満	収入金額の合計額	× 0.75 - 27万5千円
	410万円以上 770万円未満	収入金額の合計額	× 0.85 - 68万5千円
	770万円以上 1,000万円未満	収入金額の合計額	× 0.95 - 145万5千円
	1,000万円以上	収入金額の合計額	- 195万5千円

なお、“所得”と“収入”は極めて税務的な表現であり、皆様には馴染みのないものかと思えます。もしわからない場合については**各従業員の皆様に「収入か所得か？」について確認**をしていただき、その旨を会計事務所までお伝えいただくと幸いです。

所得の見積額に限らずその他各種不明点ございましたら弊所担当までご連絡ください。